

報道関係各位

東京空港交通株式会社
 東京シティ・エアターミナル株式会社
 日本交通株式会社
 日の丸交通株式会社
 三菱地所株式会社
 株式会社JTB
 株式会社ZMP

世界初、自動運転タクシー等によるMaaSを活用した 都市交通インフラの実証計画が始動 ～空港リムジンバスと連携した都心部での自動運転タクシーサービス～

東京空港交通株式会社(以下、東京空港交通)、東京シティ・エアターミナル株式会社(以下、T-CAT)、日本交通株式会社(以下、日本交通)、日の丸交通株式会社(以下、日の丸交通)、三菱地所株式会社(以下、三菱地所)、株式会社JTB(以下、JTB)、株式会社 ZMP(以下、ZMP)の7社は、東京都事業である『自動運転技術を活用したビジネスモデル構築に関するプロジェクト*1』に基づき、MaaS*2を活用して空港リムジンバスと自動運転タクシーを連携させた都市交通インフラの実証実験を行います。空港リムジンバスと自動運転タクシーが連携したサービスは世界初の試みです。

日の丸交通とZMPと三菱地所は昨夏、丸の内エリアにおいてZMPが開発した自動運転車両を用い、タクシー事業者として日の丸交通が自動運転タクシーを走行させ、需要の多い都心部路線でのドライバー不足の解消等の活用策や、ICT技術を活用した配車サービスの有用性を検証いたしました。本年は、この取り組みをさらに発展させ、成田空港／羽田空港と東京シティエアターミナルを結ぶ空港リムジンバスと自動運転タクシーを連携させることで、空港から都心部である丸の内エリアへのスムーズな移動を目指します。自動運転タクシーの走行区間は、東京シティエアターミナル(東京都中央区)と丸の内パークビルディング(東京都千代田区)を結ぶ約3kmを予定しており、日本交通と日の丸交通がタクシーサービスを提供します。さらに、空港リムジンバスと自動運転タクシーを組み合わせたサービスの提供を通じて、JTBがMaaSという概念に適應した新たな旅行サービスの商品化に関する検証も行います。

本計画では、モビリティの連携により、交通混雑解消や環境負荷の低減を目指すだけでなく、年々増加するインバウンド観光客の移動の効率化も期待できるほか、交通弱者のサポートや慢性的なドライバー不足への対応を企図しています。自動運転および複数インフラ連携を用いた本計画により、街における先進的な都市交通インフラの導入可能性を検証し、国際都市・東京の更なる機能向上を目指します。



実証実験の概要(予定)

実施時期/期間	: 2019年11月/2週間
自動運転タクシー走行ルート	: 丸の内パークビルディング(東京都千代田区)ー東京シティエアターミナル(東京都中央区)間(約3km)
自動運転タクシー車両	: ミニバンタイプ(ZMP RoboCar® MiniVan) 2台
主催	: 東京空港交通株式会社、東京シティ・エアターミナル株式会社、日本交通株式会社、日の丸交通株式会社、三菱地所株式会社、株式会社JTB、株式会社ZMP
利用方法	: 2019年9月頃、ウェブサイトにより利用者を募集予定

自動運転タクシーの走行エリア



丸の内パークビルディング



三菱地所が丸の内再構築プロジェクトのひとつとして、2009年4月に竣工。地下4階・地上34階建て、高さ約157m。三菱一号館美術館と三菱一号館広場（中庭）を同じ敷地に備える。

東京シティエアターミナル（T-CAT）



東京シティエアターミナルは、首都高箱崎ジャンクションの真下にあり、東京メトロ水天宮前駅に直結しているバスターミナルである。成田空港と羽田空港ハリムジンバスを運行しており、今年で創立50周年を迎えた。

地図出典：国土地理院ウェブサイト(<https://maps.gsi.go.jp/>) 標準地図を加工して作成

本プロジェクトにおける各社の役割

- 自動運転タクシー開発……………ZMP
- 自動運転タクシー運行……………日本交通、日の丸交通
- 空港リムジンバス運行……………東京空港交通
- 施設提供……………三菱地所、T-CAT
- MaaSに適応した旅行サービス化検討・販売……………JTB

※1 東京都 報道発表資料 <http://www.metro.tokyo.jp/tosei/hodohappyo/press/2019/06/06/01.html>

※2 MaaS (Mobility as a Service)とは、ICT を活用して交通をクラウド化し、公共交通を含め、運営主体にかかわらず、マイカー以外のすべての交通手段によるモビリティ(移動)を1つのサービスとしてとらえ、シームレスにつながる新たな「移動」の概念です。

ご参考：各社の概要と取り組み

東京空港交通株式会社

東京空港交通株式会社は、羽田空港・成田空港と東京シティエアターミナル(T-CAT)・新宿高速バスターミナル(バスタ新宿)をはじめ、首都圏各所を結ぶ1日約1,300便のリムジンバスを運行しております。空港アクセスバスのトップランナーとして、全てのお客様に優しく、親切、丁寧、礼儀正しい“フレンドリー・フォー・オール(Friendly for all)”によるサービス強化をはじめ、バリアフリー対策に関しても、リフトやエレベーター付きのリムジンバスを積極的に導入しております。本年2月には全国の空港アクセスバス事業者と連携して「空港アクセスバス・アライアンス(ABA)」を発足し、事業者の横断検索を可能としたポータルサイトの構築など、新たな施策によりさらなる航空旅客の利便性向上を目指して参ります。

東京シティ・エアターミナル株式会社

東京シティエアターミナル(愛称:T-CAT(ティーキャット))は、首都高箱崎ジャンクションの真下に建てられた3階建てのバスターミナルです。ビル内には空港リムジンバスの運行管理の拠点があり、1階に成田空港到着便と羽田空港出発・到着便のバス停、3階には成田空港出発便のバス停があります。当ビルは、地下鉄半蔵門線水天宮前駅と地下通路で直結していますが、本年8月1日からは、東京駅→三越前駅→浜町→人形町→兜町を時計回りで結ぶ無料巡回バスがT-CATに乗入れることになっており、東京駅方面・日本橋方面との結節機能が一段と強化されます。当ビルの1階・2階には、多くの飲食・物販・健康関連サービスのテナントが入居し、地域の住民の方やビジネスマンに多数ご利用いただいております。また、外国人観光案内所や常設の旅行会場もあり、外国人観光客の拠点としても多数ご利用いただいております。

日本交通株式会社

創業90年(1928年創業)、グループ売上高で日本最大のハイヤー・タクシー会社です。全国約6,100台のタクシー(フランチャイズを含む)と約1,400台のハイヤー・運行管理請負車両、約10,000名の乗務員が、各地の公共交通を支えています。2001年よりビジネスクラス・タクシー「黒タク」を導入、都内各所に専用乗り場を開設し、Japan Hospitalityをもって「拾うではなく、選ばれるタクシー」として、顧客満足を追求しています。さらに日本初となるスマートフォン配車アプリや、都内初となる妊婦送迎の「陣痛タクシー」、キッズ・観光・サポートの専門分野に特化した「EDS(エキスパート・ドライバー・サービス)®」など業界にイノベーションを起こしています。

日の丸交通株式会社

日の丸交通株式会社は、68年の歴史を持つ日の丸自動車グループの中核企業として、タクシー事業を展開しております。「腕よりも心で運転」をビジョンとし、タクシー業界に様々なイノベーションを起こし、安全とサービスの両立を目指しております。近年、急増するインバウンドと懸念される人手不足へのアプローチとして、「テクノロジー」「ダイバーシティ」「ヘルスケア」という三つのテーマを推進し、公共交通機関の一翼を担うタクシー業界の発展に貢献して参ります。

三菱地所株式会社

三菱地所は、多様な人・企業が集い、交流することを通じて進化していく街を目指し、丸の内エリアの「オープンイノベーションフィールド」化を進めており、先端技術・テクノロジーの街づくりにおける有用性等について調査・研究を行う「Marunouchi UrbanTech Voyager®」プロジェクトに取り組んでいます。今回もその一環として、国際都市・東京のさらなる機能向上を目指します。

<「Marunouchi UrbanTech Voyager®」について>

「Marunouchi UrbanTech Voyager®」は、先端技術・テクノロジーの街づくりにおける有用性等について調査・研究を行うプロジェクトです。三菱地所は、多様な人・企業が集い、交流することを通じて進化していく街を目指し、丸の内エリアの「オープンイノベーションフィールド」化を進めています。



株式会社JTB

さまざまな交通機関をワンストップで予約、決済できるというMaaSという概念は、100年に一度の移動革命と表現されますが、移動だけの革命ではなく、移動とそれに伴う宿泊、体験、グルメまで含めれば、提案できる選択肢が無限に広がる、まさしくツーリズムそのものと考えます。JTBは、この様な最新のテクノロジーを活用し、様々な事業パートナーと連携しながら、地域の課題やお客様のニーズに応えるべく、新たな旅のスタイルの構築に取り組んでまいります。

株式会社ZMP

「Robot of Everything ヒトとモノの移動を自由にし、楽しく便利なライフスタイルを創造する」というミッションのもと、①ADAS(先進運転支援)、自動運転開発用プラットフォームRoboCar®シリーズ及びセンサ・システム、②移動体メーカ(自動車、商用車、建設機械、農業機械、物流搬送機器、屋外作業機械等)向け自動運転等の開発支援、実験代行RoboTest®、③物流支援ロボットCarriRo®の開発・販売を行っています。また、2020年の自動タクシー®実現に向け、公道での技術及びサービスの実証実験を重ねています。日本初の歩道走行を目指す宅配ロボットCarriRo® Deliは実証実験を重ね、量産化へ向けた事業パートナーの募集を開始しました。ZMPはこれからも世の中に感動を与える製品やサービスを提供してまいります。